【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年5月30日(2022.5.30)

【公開番号】特開2022-17544(P2022-17544A)
【公開日】令和4年1月25日(2022.1.25)
【年通号数】公開公報(特許)2022-013
【出願番号】特願2021-182958(P2021-182958)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ 10/08(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ 10/08 ３３０

【手続補正書】
【提出日】令和4年5月19日(2022.5.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
調達された在庫が使用されるアイテムの対象期間の安全在庫量であって、過去の使用実績量に基づく第１の安全在庫量と、前記アイテムの前記対象期間以降の使用予定量に基づく第２の安全在庫量とを取得する取得手段と、
前記取得された第２の安全在庫量が前記取得された第１の安全在庫量より大きい場合に、当該第２の安全在庫量を前記対象期間における安全在庫量とするよう決定する決定手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
前記第２の安全在庫量を前記対象期間の安全在庫量とするよう決定した場合の当該第２の安全在庫量を表示する表示制御手段を備えることを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記第２の安全在庫量は、前記アイテムの前記対象期間以降の所定の期間の使用予定量の合計であることを特徴とする請求項１または２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記所定の期間に係る期間数を受け付ける受付手段を備えることを特徴とする請求項３に記載の情報処理装置。
【請求項５】
取得手段が、調達された在庫が使用されるアイテムの対象期間の安全在庫量であって、過去の使用実績量に基づく第１の安全在庫量と、前記アイテムの前記対象期間以降の使用予定量に基づく第２の安全在庫量とを取得する取得ステップと、
決定手段が、前記取得された第２の安全在庫量が前記取得された第１の安全在庫量より大きい場合に、当該第２の安全在庫量を前記対象期間における安全在庫量とするよう決定する決定ステップと
を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。
【請求項６】
情報処理装置を、
調達された在庫が使用されるアイテムの対象期間の安全在庫量であって、過去の使用実績量に基づく第１の安全在庫量と、前記アイテムの前記対象期間以降の使用予定量に基づく

第２の安全在庫量とを取得する取得手段と、
前記取得された第２の安全在庫量が前記取得された第１の安全在庫量より大きい場合に、当該第２の安全在庫量を前記対象期間における安全在庫量とするよう決定する決定手段
として機能させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、適正な安全在庫を決定するための仕組みに関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
そこで、本発明は、安全在庫を適正に決定することにより、在庫不足を低減可能な仕組みを提供することを目的とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明は、調達された在庫が使用されるアイテムの対象期間の安全在庫量であって、過去の使用実績量に基づく第１の安全在庫量と、前記アイテムの前記対象期間以降の使用予定量に基づく第２の安全在庫量とを取得する取得手段と、前記取得された第２の安全在庫量が前記取得された第１の安全在庫量より大きい場合に、当該第２の安全在庫量を前記対象期間における安全在庫量とするよう決定する決定手段とを備えることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明によれば、安全在庫を適正に決定することにより、在庫不足を低減可能な仕組みの提供が可能となる。